１２月のクラフトサークルの定例会は毎年しめ縄づくりです。
見本を並べてまず指導のサークル員が説明しました。

外にでて作成の仕方の説明を始めました。

今年も丁寧に綺麗な稲藁（手間のかかる袴を取り除いた）を用意してくださったサークル員の方がいます。いつもありがとうございます。

早速皆、藁の掃除を始めました。下葉を丁寧にとり、藁を揃えています。

ここでは新しい人や２６期生のまだクラフトサークル員ではない方にも体験指導が始まりました。

丁寧に一本ずつ下葉の処理をしています。これを綺麗にすることにより綺麗なしめ縄ができます。

縄の編み方の指導です。

掃除した後、穂先を下にして元の方を切揃えたら茎の部分を槌で叩いて柔らかくします。
そうすることによってしめ縄を編みやすくなります。

しめ縄に入れる芯（あんこ）を作っています。

ご夫婦の息のあったしめ縄づくり。

ここでもベテランのしめ縄づくりです。二人で行うことできれいに仕上がります。

これは仕上げの 3 本目の縄を編んでいます。

何か編んでいる人がいます。

このような亀ができる予定です。

まだ下葉の処理をしている人がいます。まぁなんと綺麗な藁。
これは家に帰ってからしめ縄にするつもりですね。

できてきた人もあります。

この後紙垂の作り方を指導してもらいました。
残念ながらできあがったしめ縄の写真撮り忘れました。
これは持ち帰った方にお願いした写真です。

これは昨年の指導者のかたの見本です。

これでお正月の準備一つはできました。
来年こそはコロナ気にせずに活動したいですね。